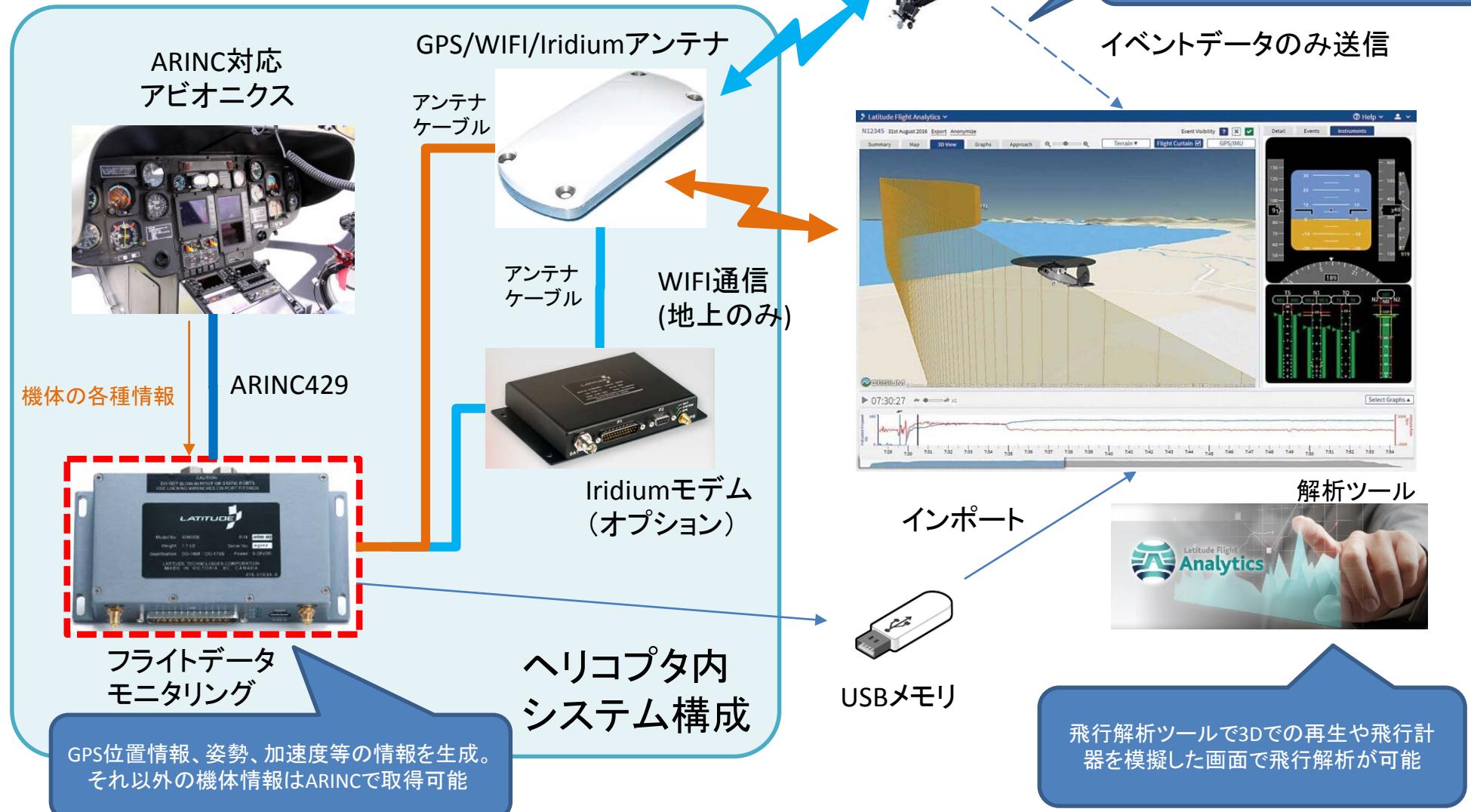


フライトデータモニタリングを装備することで解析ツール(FDMソリューション)の使用が可能



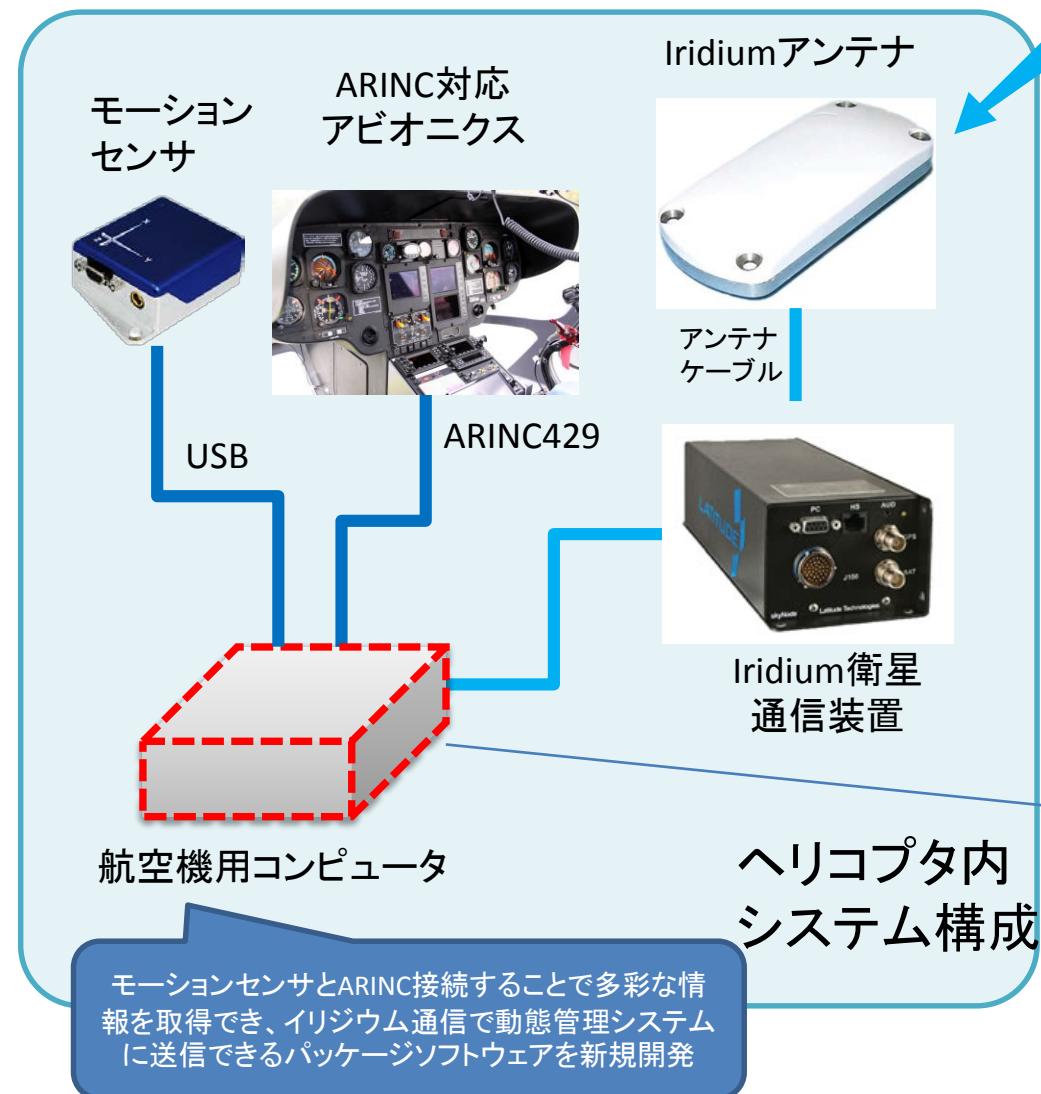
# 安全性向上に向けたヘリ動態次世代案について 案②

モーションセンサを持込み型ヘリ動態装置に接続することでFDMに必要な、姿勢、加速度など重要な飛行情報の取得が可能



# 安全性向上に向けたヘリ動態次世代案について 案③

航空機用コンピュータにARINC429およびIridium衛星通信装置と接続できるソフトウェア開発により、動態管理システム上でFDMの実現が可能



# 次世代案の比較

機能	機能詳細	案① フライトデータモニタリング(FDM)	案② モーションセンサ	案③ 航空用PC/通信FDM
GPS位置情報	緯度・経度・高度 ・速度・方位	○ (FDM内蔵センサ)	○ (衛星通信装置内蔵GPS)	○ (ARINC429)
姿勢情報	3軸角速度、 3軸加速度	○ (FDM内蔵センサ)	○ (Mセンサ)	○ (Mセンサ)
機体情報	エンジン情報、 WoWなど	○ (ARINC429,GPIO)	×	○ (ARINC429, GPIO)
2D解析ツール	地図・グラフ・数値表示	○	○	○
3D解析ツール	3Dシミュレーション	○	△	○
消防庁動態管理連動	動態管理連動	×	○	○
Iridiumデータ伝送	通信方式	SBD通信	SBD通信	SBD通信
データ取得方式	間引き伝送 30秒/1回 通信など	イベント	位置・姿勢・イベント	位置・姿勢・イベント
	地上USBデータ転送	位置・姿勢・ イベント/詳細	位置・姿勢・ イベント/詳細	位置・姿勢・ イベント/詳細
	地上WIFIデータ転送	↑○	↑△(検討中)	↑△(検討中)
修理改造	取付工事、CAB検査	必要	不要 (ただしMセンサは固縛必要)	必要
特徴		海外で実績のある製品のため、 部品調達のみで対応可能。整備 会社のキャパシティに依存する。	持込み型動態管理機上装置を 保有している既存20ユーザへの 適応が容易。	動態管理システムと合わせて 設計される。また次世代ナビ へのグレードアップが可能。